

学年	観点			
	家庭生活や技術への関心・意欲・態度	生活を創意工夫する能力	生活の技能	家庭生活についての知識・理解
5年	・自分や家族の生活を振り返り、自分にもできそうな料理や裁縫などを具体的に計画を立てる。 ・できたことをしっかりとまとめたり、日常生活で実践させたりすることで意欲の継続を図る。	・家庭の仕事を見直し、その仕方について考えたり、自分なりに工夫したりして課題に取り組むプロセスを大事に指導する。 ・「生活を創意工夫する」とは、どういことなのか、具体的な場面を設定して、ペアやグループ、全体で話し合う時間を充実させる。 ・家庭科学習ノートを使って、学習のねらいや実践の計画をしっかりと立て、見通しをもたせる。	・調理や裁縫などの技能を確実に定着させるために、児童が実践しやすい内容(題材)を精選し実践していく。 ・技能の習得の場面などでは、ICTや動画を活用する。	・ねらいを明確にした見通しのある学習計画を提示し、基礎的な知識や技能が身に付きやすい学習過程を作る。 ・学習で得た知識や技能を日々の家庭生活に生かせるよう、家庭との連携を図った授業を行う。 ・ワークテストや家庭科学習ノートを使って、知識の定着を図る。
6年	・これまでの自分の生活を振り返り、5学年の経験を基に、よりよい生活を目指すために自分ができる事を計画し、実行できるような実践的な場を設けて、関心・意欲の持続を図る。 ・創意、工夫を凝らすことができる教材を用意し、製作への意欲を高める。	・自分なりの課題を解決する楽しさや実生活への期待がもてるように、家庭と連携しながら実生活との関連を図った学習を効果的に取り入れる。 ・家庭科学習ノートを使って、学習のねらいや実践の計画をしっかりと立て、見通しをもたせる。また、計画をもとに主体的に活動できるようにする。	・日常生活で生かすことができ、技能を確実に身に付けることができる題材を精選する。 ・技能の修得場面では、実物投影機や拡大した掲示物を提示する。また、少人数グループによる学び合いの場を設定する。 ・学習したことを家庭学習の一環として計画し、実践をとおして技能が身に付くようにする。	・5学年で学んだ基礎的・基本的な知識や技能の定着を図り、学習が無理なく効果的に進むように、段階を追って学習計画を立てる。 ・学習で得た知識や技能を日々の家庭生活に生かせるよう、家庭との連携を図った授業を行う。 ・ワークテストや家庭科学習ノートを使って、知識の定着を図る。